



ロータリーは機会の扉を開く

# 週報Rotary



所沢西ロータリークラブ  
RI第2570地区 第3グループ

会長：石井 秀夫  
幹事：和記 毅

副会長：小久保 昇  
会長エレクト：師岡 友次

クラブ管理運営委員長：堀江 大

例会場：〒359-1127 埼玉県所沢市星の宮1-3-5 ベルヴィザ・グラン

TEL.04-2923-4122

事務局：〒359-1118 埼玉県所沢市宮本町2-22-25 角田ビル3F

TEL.04-2926-1666

例会日：毎週火曜日 (PM12:30～13:30)

FAX.04-2926-5151

E-mail nishirc@dream.ocn.ne.jp HP <http://www.tokorozawa-nishirc.net/>

**4つのテスト** ①真実かどうか ②みんなに公平か ③好意と友情を深めるか ④みんなのためになるかどうか  
1.点鐘…会長 2.斉唱…ロータリーソング 3.来賓紹介 4.会長・幹事報告 5.委員会報告

第 1606 回例会 2020・10・20

ニコニコ 0 円

累計 267,000 円

卓 話	例会当番	記念祝福
10//20 米山月間卓話 ロータリー米山記念奨学委員会 推進委員会副委員長 幸森 康夫様 奨学生 ゴー、ミフェンさん	内野 忍	
	バトナム	駿河台大学

■出席報告	
月 日	10/13
会員数	31
出席者	7
出席率	22.6%
前回修正	87.1%

2020-2021 年度

ガバナー 相原 茂吉様

所沢市内 4クラブ 合同ガバナー公式訪問

10月13日(火)ベルヴィザ・グラン



## 進 行

- \* 司会 所沢中央ロータークラブ  
幹事 仁科 陽子様
- \* 入場 相原 茂吉がバナー様



- \* 開会点鐘 所沢中央 RC 会長 柴 栄一様
- \* 国歌・ローターソング(奉仕の理想)
- \* 来賓紹介 所沢西 RC 幹事 和記 毅



- 第 2570 地区 がバナー 相原 茂吉様
- 第 2570 地区がバナー補佐 西澤 長次様
- 第 2570 地区副幹事 和田 尚也様

- \* 会長の時間 各クラブ 会長挨拶及びクラブ 紹介



- 所沢ロータークラブ 会長 見澤 孝一様
- 新所沢ロータークラブ 会長 篠塚 文雄様
- 所沢西ロータークラブ 会長 石井 秀夫
- 所沢中央ロータークラブ 会長 柴 栄一様

- \* 所沢西 RC 会長 石井 秀夫



みなさん、改めましてこんばんは。 私共のクラブでは、年頭に掲げました「元気で楽しい充実のローターライフ」ということを目指しております。その中でローターの原点である職業奉仕を会員の皆さんと深い絆のもとに実践することが第一と考えます。それは、会員一人一人が、それぞれの会社が「四つのテスト」のもとに元気になること。そして周囲の人たちを幸せにすることだと考えます。

例会の会長の時間におきましては、どのようにしたら元気になれるかということをお話しさせていただきます。

このコロナ禍の厳しいストレスに勝つために物事を前向きにとらえ、そして世の為人の為に生きることは健康になりますよ。そうすることによって、自身の体が一番喜び、医学的にも体に良いホルモンが湧き出るそうです。というような別の角度からのお話もさせていただきました。そして、自身が、クラブが元気になる方法を色々な角度から探求しているところでございます。

ところで、会員増強に関しましては、本橋増強委員長の元、頑張っているところでございます。他クラブの健闘も参考になりながら、前年度の皆様の努力のおかげで、今年度現時点で2名の方に入会して頂きました。ローターどころじゃないよというこのコロナ禍の大変厳しい受け止めもある中、皆様に入会をお願いを頑張っております。引き続きの会員増強に努めてまいります。

そして、親睦行事の制限されている中ではありますが、アウトドア等、蜜を避けた行事は出来るだけ取り入れて、実施しようと思っております。その中で、前半と後半の親睦ゴルフも企画し、これから始まります。

その行事は、当クラブの会員だけではなく、入会候補者、そして他クラブの会員の方も参加して頂き、輪を広げていくことを考えております。

ところで、私共クラブでは、現時点におきましては32名中4名の女性会員に入会して頂いております。

女性の輪が広がってクラブの中が大変明るくなり、盛り上がっているところでございます。

ここに参加頂いています、新入会員の皆さんに例会時にローターの機関誌の記事の紹介を順番にしてもらうことを復活いたしました。

発表して頂くことによって、より多くの記事を読み、選択してもらうわけですから、発表される量の数倍の知識が身につきます。これは、当たり前のこととでございます。ローターの活動がどういうものなのかの発見と共に「やはり私の期待していた通りだ」というように一つ一つ確認もできます。

そして、今入会して頂いている新会員の皆さんは、これからのローター活動に関しまして、一番期待している皆さんです。その人たちが学ぶことによって輪が広がっていきますよう、我々もしっかりと共に進んで行こうと考えております。

さて、私共クラブでは、台湾の台中にございます、吉安ロータークラブと姉妹クラブの締結をしており、毎年の交流を深めているところです。

しかしこのコロナ禍、当クラブの35周年記念事業が5月に中止になり、本年は12月に吉安ローターの周年事業の際の姉妹クラブの締結更新に出席できるかどうか心配しているところでございます。引き続き交流の約束は出来ているものの、一日も早い終息を願っております。以上、当クラブの現状報告とさせていただきます。

ありがとうございました。

## \* 講話                      ガバナー 相原 茂吉様



皆さん こんにちは 本年度ガバナーの相原茂吉

です。あらためまして、どうぞよろしくお願い申し上げます。

現在、コロナに対し何となく慣れてきた感があり、各地では感染予防を取りながらも少しずつ制限や自粛が緩和されてきております。春先の正体不明なコロナに対する恐怖感も、今や相当内輪になりつつあります。さりとて油断は大敵です。

ローターも当初は公式訪問が出来ないんじゃないか心配しておりましたが、先ずは、本日こうして公式訪問ができて本当に良かったと思います。本日で22回目の公式訪問になりますが、本日は所沢4RCの合同公式訪問。人数が多い為に、感染予防を考慮し、会長・幹事さんと新会員だけの会でございますので、落ち着きましたら、例会時にメキップの形で、各クラブに訪問させて頂きたいと思っております。

所沢RC・所沢中央RC・所沢西RC・新所沢RCの年度計画書を拝見させて頂きました。

夫々、しっかりと今年度の方針と目標を立てられ、共通したテーマは「コロナに負けずにみんなで一緒に、ワチームで乗り越えよう」というものでした。そして長年に亘り継続されている奉仕事業があることなど、改めて会員の皆さまの奉仕を通じた強い絆や歴史を感じました。

さらに会員の名簿をじっくりと拝見し、所沢地区は本当に逸材揃いの地区であることも痛感しました。

本日の私の話が、一つでも二つでも皆さんの心に訴える事が出来ればと祈念し、始めさせていただきます。

さて、ガバナーの最も重要な役目である公式訪問ですべき事は、RI会長のテーマと趣旨、そして地区のテーマと方針をお伝えし、クラブの活性化と会員のモチベーションを上げることであります。

先ずは、今年度のRI会長ホガーク氏のテーマを一応お話しします。ホガーク氏はドイツ人、不動産業67歳です。テーマは既にご存じの通り Rotary Opens Opportunities.ローターは機会の扉を開くであります。

私はこの意味をこのように解釈致しました

「私達の人生には多くの可能性が満ち溢れています。その可能性をつかむには様々なアプローチの仕方があるでしょう。でもその機会は待っていればおとずれるのも、すなわちチャンスではありません。自分の手で行動しつかみ取る opportunities なのです。奉仕

の理念の下、多様性に溢れる Rotary は、人によって様々な価値観があると思います。そして、それは無限の機会への招待であります。皆さん、是非、Rotary の扉を開きより豊かで幸せな日々をそして人生をつかんでください」

私は 2005 年に川越 RC に入会して以来、本当に多くの機会に恵まれました。

入会当時、私はローターに対して、あまり熱心ではありませんでした。

紹介者の手前、初めは適当にやっていたのですが、親睦委員長などの役目を与えられ、仲間と炉辺会合や親睦ゴルフなどを楽しんでいるうちに、知らず知らずの内に、同じような価値観をもった仲間が出来、いつの間にかしっかりとその輪の中に入っている自分がおりました。

そして、今年度、考えもしなかったがバナーまで拝命し、神様の気まぐれというか、身に余る、与えられた立場に感謝しております。

さて、ご承知の通り 7 月のガバナー就任前にしなければならない 3 大研修は地区チーム研修セミナー PETS 地区研修協議会 であります。

2 月と 3 月は、コロナがそれほどではなかったのですが、二つは出来ましたが、誠に残念ながら 4 月の地区研修協議会は開催できませんでした。地区研修協議会は各クラブの会長・幹事・委員会委員、そして地区役員全員が揃って、次年度の方針をしっかりと把握し、士気を高める重要な会議であります。新狭山 R の皆様にホストクラブとして、西澤ガバナー補佐を中心に綿密な計画をばっちり立てて下さいましたが、本当に残念でした。

その頃、コロナ感染危機が刻々とせまり、あらゆる活動の自粛、緊急事態宣言。学校の休校、そして国民的行事である甲子園の中止、ついには東京オリンピックまでも中止になってしまいました。そして、もちろん鈴木年度の地区大会も出来ませんでした。

なので、7 月から始まる新年度は一体どうなるんだらうか？と非常に気をもんでおりましたが、7 月になると各地区で例会がなんとか始まりまし

ております。

今、公式訪問は各クラブの実情にそった形で行っております。

そして、いよいよ、11 月 3 日の地区大会開催があと半月で開催致します。当初は延期や縮小を視野に入れながら、流動的に考えておりましたが、公式訪問を重ねるうちに、会員の皆様のローターに対する熱い思いに背中を押され、決断した次第です。当初は 2 日間の予定でしたが、1 日に縮小して開催。会場も 1700 名収容可能なウェスタ川越なので、十分に social distance をとることが可能です。川越市のコロナ感染予防ガイドラインに十分に沿う形で開催できます。現在、驚くべきことに 500 名の登録者があり、また来れない方には当日 YouTube で実況生中継を致します。

なお月信 10 月号に書かせて頂きましたが、講演は三浦雄一郎さんをお願いしました。非常に感動的・奥の深い話をすると思います。有意義な大会にすべく実行委員会が寝ずに頑張っております。どうぞ、よろしくお祈りします。

さて、ガバナーの役目は国際 Rotary 細則第 16 条に謳われているように、何といたっても地区とクラブの活性化であります。

言うまでもありませんが、冒頭で申し上げました通り、私が非常に心配したことは、コロナの影響で多くのローターの気持ちが離れ退会しちゃうんじゃないか？でした。

孟子の言葉に「恒産無くして恒心なし」という格言があります。

一定の職業がなかったり、物質面の安定が無かったりすると、正しく落ち着いた心を持ちことが出来ない事のたとえ。だそうです。

私達ローターは職業を基本としております。今回のコロナで相当な経済的・精神的ダメージを受けていらっしゃる方もさぞかし多いと思います。特に観光や飲食関係のダメージがひどく、川越でも JTB の支店長が昨年対比 95%減であると卓話で話しておられました。

ここで RI の直近の報告です。

## RI の報告

私の心配はほぼほぼ杞憂でした。殆どの会員が残られた。

この事実は Rotary の魅力以外なものでもないと思います。

あるクラブの会長は事業計画書の中で「人々を Rotary に引き付けるのは友情と人脈作りの機会である」と語られています。正に真実であると思います。

そして先ほど、申し上げましたが、所沢 4 クラブの共通したテーマは「コトに負けず、ローターを楽しもう」であります。

こういった皆さんの熱い思いが、私達の Rotary を支えているのだと思います。

さて、Rotary は全世界にまたがり、120 万の様々な人種から構成されております。なので多様性に富み、その思いは人様々だとおもいますが、根底にあるものは、115 年前にポールリスが Rotary を始めた原点にあると思います。

原点、それは荒廃した社会における人と人との心の絆でありました。

100 年という歴史の中で、Rotary は、多くの賛同者の下、巨大化し国際組織に発展しました。同時に価値観の多様化が進み、統一ルールの必要性とし、定款・細則が定められ、そして時代時代に適応するよう変化してきました。

ポールリス自身も 1923 年に、既に Rotary は変化しなければならない、時には革新的にならなければならない。とも言っております。

しかしながら、不変のものは、それは何と云っても親睦と奉仕の理念です。

あるクラブの今年度の事業計画書の会長方針に茶道の「相客に心せよ」の言葉が紹介されておりました。茶道に関して全く無知な私はそのことを早速初めに調べてみました。それは、千利休の茶道 7 則の第 7 番目の言葉です。

そもそも「茶」とはどんなに良質の素材を用いて、最善の方法で作られ、非常に丁寧に点てたとしても、そこに「心」がなければ、単なる嗜好品で終わってしまう。その心とは、同じ場所に居合わせた人に対して気遣い、思いやる事。これが茶の湯の神髄である、とありました。

さらに、このことは一期一会の精神が根底にある。ご承知の通り、一期一会、それは生涯に一回しかない茶会と思われ、主客に誠意をもって真剣にもてなすこと。であります。

ローターの目的の第 1 項は「知り合いを広げて奉仕の機会とすること」であります。出会いを大切にす一期一栄に通じるものです。

奉仕の理念は、相手の事を思いやり他人の為に尽くすこととあります。

正に茶道における「相客の心」とあい通じるものであることと思います。

ところで、私の会社は働き方改革とは無縁の会社であります。食品大豆や酪農関係の仕事ですが、超が付くほどの成熟産業です。しかも完全に昭和の精神を引きづっている会社です。プライベートに価値観を置く若い人には、まったく受け入れられません。今回のコトで環境は激変しているものの、今後、生き残るには就業規則などの改革を必要としている会社の一つであります。しからば、どうすれば社員のモチベーションを維持させるか？

給料を上げる事は、競争が厳しい業界なので、そう簡単にはできません。

そこで、私は、弊社の社員に、ローターの職業奉仕の理念を話すことをしております。仕事をする事の意義です。

「仕事って、勿論給料を得るためにするんだけど、みんなは仕事を通じて社会に奉仕しているんだよ」と言ってお Rotary の 2 つのモットーを話して聞かせるのです。

まずは Service above self. 世の為人の為に役に立つことの意味です。

そして、仕事のやり方と考え方として、One Profits most who serves best. もっとも奉仕するものが最も報われる。奉仕の実践の事を話します。

本日は新会員の方が多いのでシェルトンの奉仕の理念を話します。

シェルトンの職業奉仕の理念：

職業は利益を得るためにするのではなくて職業を通じて社会に奉仕することである。

お客さんに仕事を通じて奉仕することによってはじめて、大きな見返りがある。

仕事はお金を得るためにするのは当たり前、でもそこに相手の為、相手に喜ばれるという発想を持つと、全く仕事の角度が変わってくる。

どうすれば相手に喜ばれるかを常に考えていると仕事のやり方が変わってくるし、自分自身の向上

につながる。そしてそれは人格や人生観の向上にもつながってくる、何てことを話します。

私自身も、はじめてジェルトンの奉仕哲学を読んでみて、ああそうかなんだと納得しました。

有名な「近江商人の3方よし」の話、これも完全にジェルトンの職業奉仕の理念と同様だとも思います。さらには現代のCSR（corporate social responsibility）の原点は昔から言われてきたことなんだということも感じました。

Rotaryの扉を開く事によって、私はジェルトンの奉仕理念とservice above selfという2つの大切なメッセージを学び、社員に対して働く事の価値、職業奉仕の理念を説くリソースを得たのです。

そして今回、このことが茶道の道に通じる事も知りました。そして、もう一つ。7月19日日曜日たまたまネットで大実業家である京セラの稲森和夫会長85歳のDVDを見ておりました。ご承知の通り稲森氏は今から約60年前にゼロから京都セラミックを創業し、現在1兆5000億の企業に育てました。その間、第二電電KDDIの創業や2010年78歳の時JALの再建、そして盛和塾という勉強会を立ち上げ、京都賞の設立など、産業界全般に亘る指導・育成の為、精力的に多忙な日々を送っています。30分程の素晴らしい内容ですが、その稲森さんが最も大事にされている言葉が「利他の心」だそうです。この「利他」を常に意識すると、運が好転し人格を作り上げ、顔つきも変わってくる。さらに会社はいつそう強くなり安定する、と何度も述べておりました。

そしてリーダーにとって一番大事な事は何ですか？の司会者の問いに対して、ゆっくりとかみしめるように、「それは能力や才能ではなく「思いやりの心」である」と、おっしゃっておられました。ネットを通じた、稲森氏の人柄は慈悲の心で満ち溢れているように見えました。

稲森氏の人生観は、まさにRotaryの考え方そのものであります。

近江商人の三方よし、利休の相客の心、稲森氏の利他の精神やリーダーシップの考え方などなど、すべてに共通することは「他人を思いやる心」であります。

さて、ガバナーエクトの義務研修として、今年の1月に約10日間アメリカサンディエゴの研修に行っていました。世界中から530人のエクトとそのパートナー、お

よび研修リーダーやスタッフなど総勢1500名の盛大な国際協議会でした。

ガバナーエクトに至る経緯ですが、ご承知の通り、今は久々に入間RCの水村Gエクトと本庄RCの村田Gミニが決まっておりますが、つい最近まで、当地区はなかなかガバナーの成り手が、見つからなかったというのが現状でした。

実際、サンディエゴの国際協議会の時、34地区の内ミニが決まっていないのは当地区だけでみじめな思いをしていたものです。

パストガバナーによる指名委員会で、次は何としても川越から出せという強い要望により、95名の会員がある川越RCでは非常にもめにもめて、ついに私にお鉢が回ってきたのです。

私がガバナーを引き受けた理由は二つあります。

ひとつは日ごろ世話になっている川越RCの立原パストガバナーから「相原、お前やれ！」という半ば強制的な圧力に屈し、断り切れずに受託したのが事実です。

あと、もう一つは、ご承知の方も多いと存じますが、私の父は1977年度、今から43年前に当地区のガバナーを務め本当にRotaryを愛しておりました。

私自身もRotaryのおかげで娘の縁談など、いろいろな恩恵を授かった。そして私は実は先代の弟の子で養子であります。ガバナーを引き受ける事が養子の勤めのような気がしたのです。

なので、私は今までの多くのガバナーのように余裕があって大所高所からその責務を担うのではなく、日々厳しい商売の現場に直面し、会社の業績など一喜一憂しているガバナーであります。

そして、猛反対であった家内をなんとか説得して、義務である国際協議会に参加したのです。

成田空港で一緒になった同期のガバナーエクト達。いったいどんな人がくるのかなあと感じておりましたが、みんな同じような心境の人達でした。即ち、みずから率先してガバナーになった人は殆どいなくて、みんな断り切れず、戦々恐々として、仕方なくやってきた人達がほとんどでした。

特に印象に残っているのが九州のエクトで人工透析を15年位やっている方で、人工透析の為にドクター同伴できていました。普通であれば考えられないのですが、その方は一日おきに現地で人工透析をや

りながらの参加です。

この人は硯川さんといって公認会計士ですが、友10月号の九州災害の記事に写真が大きく載っています。

息が詰まるような約1週間の完璧な缶詰め研修。本当に缶詰めです。

しかしながら終わってみると、同期の缶詰達の連帯感是非常に深まり、むしろ苦行を乗り越えた達成感、心配は自信と熱意に変わっていました。

みんな Rotary に燃え始めたのです。

G缶詰という立場は、私にサティエゴへの機会を与えてくれました。その扉の向こうには、ただの海外旅行ではありえない、ローターでなければ決して体験できない多くの事を経験できました。その研修は、私に Rotary の新しい扉を開いてくれましたのです。

まさしく Rotary は世界の Rotary であること。を実感しました。

私は今年度のテーマを **Let's make Fellows** としました。

皆さんは社会的に成功した地域のリーダーの方々です。

そうでない人に比べて、人生における達成感や満足感はそれなりに多いと思います。

しかし、同時に背負っている悩み、心配事、責任、などなどそうでない人と比べると間違いなく大きいと思います。

先ほど申し上げた通り、同期34人の缶詰は、初めは、仕方なく、恐る恐るサティエゴに来た、しかし帰るときには、我々は仲間なんだということを認識し、同期の缶詰との絆は大変深まり一緒にがんばろうという共通の連帯感を生み出しました。

余談ですが、あれほど Rotary に拒否反応を示していた私の家内ですら、同期の奥さんとのラインのやり取りが本当に楽しそうです。

缶詰で Rotary どころじゃないよと思っても、でもやっぱり Rotary の仲間は大切。

例会が休会しても、ロータリーの仲間とはいつも一緒。何故ならば楽しいからです。心が癒されるからです。

このことが、正に Rotary の魅力であると私は確信します。

缶詰は日本では終息の方向に動いておりますが、世界ではまだまだ猛威をふるっております。ロータリー

の健康と安全を最優先する RI からは、R 活動の自粛を要請されております。

RI の役員の立場であるガバナーとして、どうあるべきか？ 活性化か自粛か、RI が推奨するオンラインだけでは、どうしても思いや、空気が伝わりません。ガバナーとして何ができるか？

先ほど申し上げました通り、ガバナーの役目はクラブの支援です。

退会者をなんとか防止したい、なんとか、会員に Rotary の素晴らしさを認識してもらいたい、こういう時だからこそ Rotary なんだ、と思ってもらいたい。

そこで、私は一つの DVD を作りました。内容は、Rotary を心から愛し人生の指針としていた、私の父の話です。

YouTube で配信しているので、皆様の中でご覧になって頂いた方は既にいらっしゃるかもしれませんが、本日これから見ていただきます。約24分のDVDです。

正直申しまして色々な受け取り方があると思います。しかし、DVD を見て「そうか、だから今 Rotary なんだ」と思って頂けたら、望外の光栄です。

同じ価値観や心配事をもった仲間同士が知り合い、あたらしい友達を作り、Rotary の魅力を享受し、結果人生を豊かにする。

人生を豊かにすること。このことが Rotary で最も意義があると私は思います。奉仕活動はその方便の様な気がします。

今回のコロナによる大きなダメージにも拘わらず、多くの会員がそのまま会員でいてくれた。これは、皆さんの心の根底に、Rotary を通じた友情や友愛があるからこそだと思います。

経済が右肩上がりの時代の予測や考え方は通用しません。

これから訪れるであろう、予測のつかない時代、new normal. です。

長い年月にわたり、ロータリーは人道的奉仕や世界平和の為に、行動してまいりました。

先人たちが行ってきた高潔な志を持った行動は、今後も何としても継続していきたい。

しかし、新型コロナにより社会が大きく変化してしまいました。

時代が変わってしまったと言っても過言ではありません。このような中で Rotary は時代にどう即して生き残っていくのか、考えねばならなくなりました。

その時、同じような立場で、同じような価値観をもった仲間がいる事は、この上なく心強いことです。悩みや苦勞を分かち合い、一緒になってお互いの知恵を絞っていく。厳しい時代になり、難しい課題があっても、一緒に乗り越えていく仲間がいる事、これこそ Rotary クラブがもつ最大の価値・機能だと思います。

人生には価値観を共有する友人が必ず必要です。いるのといないのでは人生、大きく変わります。米山梅吉翁も言われました。

「人間肉体上の福祉には第一に食物を必要とするが如く、精神上の富裕には最も友人を必要とする。」

もう一度申し上げます。

皆さんは地域のリーダーと称される人たちです。幸せ感や達成感はそうでない人に比べると、かなり大きいと思います。

しかし、同時に背負っている責任、悩みごと、心配はそれ以上に大きいと思います。

だから、Rotary なのです。

ロータリー同士は、価値観が共有できます。

結果人生がいつそう豊かに幸せになると確信します。

皆さん、是非とも、Rotary の扉を開き友達をもっともっと作ってください。

Let's make Fellows 友達をつくろう！ です。

#### \*クラブ協議会 がバナー様と3年未満会員討議

各クラブ代表の会員の質問に、ソツにきめ細やかにお話をいただきました。

#### \*花束贈呈 新所沢 RC 幹事 澤田 弘子様



#### \*閉会点鐘

所沢中央ロータリークラブ

会長 柴 栄一様

#### \*相原ガバナー様・西澤がバナー補佐様・和田地区副幹事様と所沢西クラブ 出席者



~~~~~

#### \*10月12日(月)鳩山カントリークラブにて行われました地区大会記念チャリティゴルフコンペに、当クラブから9名の参加があり、優秀な成績を収めました。



今週の担当 大館 信夫